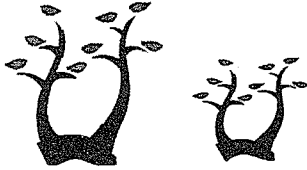


「鵜沼の緑と景観を守る会」機関紙

鵜沼の緑

10月例会報告



発行 藤沢市鵜沼地区「鵜沼の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)

10月例会報告

10月例会は10月28日(日)15時より鵜沼公民館で開催。出席者は11名。

司会・古山幹事。書記・佐藤幹事。午前中の高木ふれあい荘の清掃には6名が参加しました。

10月例会報告

1 湘南緑の連絡協議会が発足

先月の会報でお知らせしましたように湘南みどりの活動5団体が海岸緑化推進に関する打ち合わせを行い、細川元首相、宮脇昭先生提唱の「森の長城プロジェクト」に参加することに決定しました。みどりの会は当面1万円の会費を納めます。「森の長城プロジェクト」は東北被害地のガレキを活かして森の防波堤をつくろうというものです。

○目標1:ポット苗9000万本の植樹を目指します。

○目標2:このポット苗をガレキと土を混ぜたマウンドの上に植樹。

マウンドは岩手~福島県の沿岸300kmにわたってつくります。

ポット苗を育て植えるのに1本500円かかります。この壮大なプロジェクトに皆さんのご支援をよろしくお願いいたします。

〈湘南みどり活動5団体〉 市自然環境懇話会・鵜沼景観まちづくり会・湘南の散歩道
川名自然フォーラム・鵜沼の緑と景観を守る会

当日、慶応大の原さん(博士課程)から抵抗性クロマツについての話を聞きました。

抵抗性クロマツ

◇クロマツ特有の病害虫(マツノザイセンチュウ)の活動が活発な6~7月頃にセンチュウをクロマツに施種し10月下旬までにクロマツの抵抗性が判明した苗だけを選別生育された苗木をいう。

◇抵抗性クロマツは無農薬。今まで病害虫対策で使ってきた薬剤が不要。

◇クロマツを海岸防災林の最前線に配置すると海からの塩と砂を固定し背後に広葉樹が育つ環境を整えるため津波を減災する厚みのある海岸防災林の形成を促進する。

◇抵抗性クロマツの植栽効果はクロマツ特有の病害虫に強いことから津波減災効果をもつ海岸防災林の能力を高める。

◎実験参加者募集中 鵜沼、湘南海岸の公園などでの植栽交渉中。

◆湘南緑の連絡協議会主催の宮城県防潮堤視察が行われました

期日 10月30日(火)

集合場所及び時間 仙台駅新幹線中央口 午前10時 参加者15名

<コース> 仙台駅—仙台市役所—輪王寺—昼食(「ずっけろ」)—岩沼(森の防潮堤)—仙台空港—名取市関上(ゆりあげ)の日和山—仙台市若林区荒浜慰霊碑—仙台駅

宮城県防潮堤を視察して

輪王寺のトンネル状道路の上に平成16年から8年かけて作られたという多様な種類の広葉樹による混交林は、互いに競いながらも共生し、いまだ若木の群生であるが深い茂みをつくっている。約60種類33000本のその土地本来の樹種。もし海岸の防潮林として生育したならば、かなり津波の勢いを弱めてくれるに違いない。温室の中には無数のポット苗が地に植えられているのを待っていた。雨水もしっかり樽の中に溜められ、出番を伺っているようでもあった。日置住職の森づくりの熱意が伝わってくる。

思えば明治神宮の森も人工林だがいかにも自然林のようだ。長い年月を経てそこに生態系が形成されていく。

岩沼の「千年希望の丘」プロジェクトの実証実験の丘を見学して、百聞は一見に如かず。よく理解できた。日置住職が熱心にご説明くださり大変参考になった。ここも輪王寺の密度の高い林のようになっていくのであろう。高さ3m程の丘の頂に登って東の海の方を見ると、津波ですかさかにされた松林が衰えな姿を留めていた。

松は露岩地や沖積砂礫地など土壌の浅い貧養地に生育する。ただ常磐の松といわれるように、長寿や節操を象徴するものとして古来尊ばれてきた。「一説に、神がその木に天降ることをマツ(待つ)意とする」と広辞苑にある。古来海辺にはよく松が植えられてきた。そして防風・防砂と優れた景観形成の機能を果たしてきた。ただ厄介なのが津波である。

鶴沼海岸の松は「富士」「江の島」とともに湘南の風景の代名詞であり、クロマツは市の木。松林を生かしながらマウンドアップした丘に多層構造の混交林をつくり、防風・防砂・防潮・防災・避難・眺望といった複合機能を持つ『緑の丘づくり』を実現したい。

高橋志保彦

<そのほかの参加者の感想文は12月発行の会報に掲載します>

500円で1本のポット苗を植えることができます。

ご支援をよろしくお願い申し上げます。



2 街並み百年条例ヒアリングの結果と課題

7月6日に奈良景観課長が出席され開催。その後、各地域で行われてそのまとめが発表されました。主な意見が取り上げてありますが、当みどりの会の意見が掲載されていますので紹介します。

『街並み百年条例については、わざわざ打ち出さなくても良い。今までの景観への取り組みを充実させるだけでもまちづくりはしっかり十分に進められる。具体的にはニコニコ自治会のように、住民協定から景観形成地区への移行を進めることが景観形成にもっとも効果的と考える。(鵜沼の緑と景観を守る会)』

この意見に対する取り組み案が提示されています。

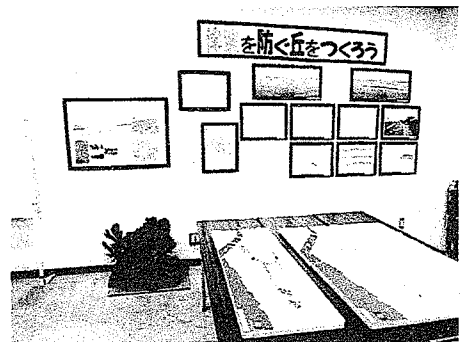
◎条例制定を含む、今後の取り組みの全体の方向性を示す。(ヒアリング報告会を発展させた意見交換会により、意見を聴取する)

◎都市景観市民団体との意見交換、勉強会を進め、景観条例と風致地区の両制度を活用したまちづくりを検討する。(鵜沼地区)

3 公民館まつり

■津波対策緑の森の丘模型について

高橋建築都市デザイン事務所と桑田会員・戸井田会員の協力により作成。この模型は現状の鵜沼海岸と津波対策森の丘の海岸が対比されてつくられており、来室された方はその現実味に感銘を受けたようです。高橋志保彦先生の描かれた森の丘海岸のスケッチはこんな丘があったらなあと思わせるようなすばらしいものでした。



■ポストカードの販売

鵜沼の景観や海岸、富士山（ダイヤモンド富士など）の写真をポストカードにしました。今年も好評でたくさんの方が求めてくれました。

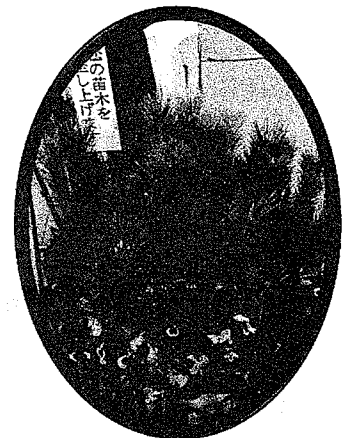


■松の苗とパンジーの配布

今年も30本無料配布。
パンジー30鉢はすべて配布しました。
その他に抵抗性クロマツの見本も展示しました。

■その他 子どもたちが描いてくれたみどりの絵も52枚展示。

多くの親子連れが見に来てくれました。



4 湘南ふじさわ歴史文化めぐり

第7回おとなの遠足は善行雑学大学担当で9月29日に行われました。

<コース> 石名坂最終処分場跡地広場—聖心の布教姉妹教会—旧藤沢カントリー—3番ホール

彫刻家親松英治氏アトリエ—グリーンハウス(旧藤沢カントリークラブハウス)

好天に恵まれた秋の一日を楽しみました。二つの教会の聖堂拝観、パイプオルガンの伴奏での讚美歌斉唱、親松氏のアトリエではご本人の話を伺いながら現在制作中の彫刻・巨大マリア像(完成すると16mにもなるそうです)を拝見したことなどが参加者の印象に残りました。

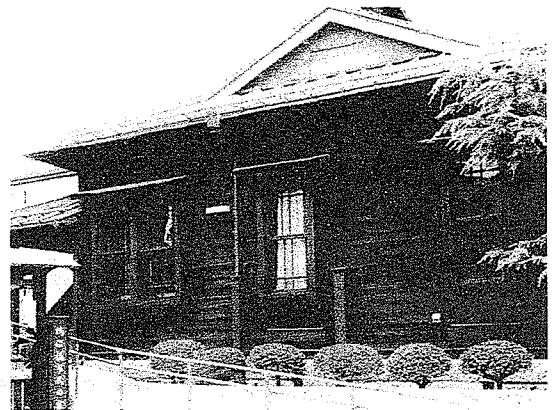
親松氏は日展評議員で内閣総理大臣賞など数々の賞に輝く彫刻家です。

5. 第7回湘南郵園文化祭2012に参加

9月1日から12月末までの間、相模湾沿岸地域(小田原～横須賀)の各市町村で活動する各種団体がそれぞれ独自に行う催しに当みどりの会も今年度初めて参加しました。

テーマは「国登録有形文化財—旧後藤医院で聴くピアノ演奏会」と題し旧後藤医院(鶴沼橋市民の家)建物内の応接間に創建当時からあった故後藤秀兵院長愛用のピアノによるミニコンサートを開催します。

同時に建物の優れた特徴や昔の家具などを広く知ってもらえるよう内部をご案内いたします。



国登録有形文化財 旧後藤医院

和やかな雰囲気好評に包まれてコンサートは終了しました

出演 原田直子さん(大人のピアノ教室)
 曲名 ノクターン遺作<ショパン> 歌の翼にのせて<メンデルスゾーン>
 「月光」ソナタ第一楽章<ベートーヴェン> タイスの瞑想曲<マスネ>など。
 ♪ 皆で歌いましょう! 「旅愁」 「故郷」



11月の日程

編集会議	11月7日(水)	14:00~
演奏会準備	11月9日(金)	15:00~
ピアノ演奏会	11月10日(土)	11:00~ 13:00~
会報印刷	11月12日(月)	13:00~
〇郵便清掃	11月16日(金)	9:30~
ふれあい荘清掃	11月18日(日)	10:00~
例会	11月18日(日)	15:00~
報告会	「宮城県防潮堤視察」に参加して	
幹事会	11月24日(土)	10:00~

☆編集係より☆
 去る十月三十日、「津波からいのちを守る森の防潮堤」を見学するため仙台に行ってきました。早朝の出発でしたが東北新幹線「はやぶさ」に乗車、約一時間半で仙台に到着。スピードの速さに驚くと共にいまや仙台は当地からの日帰り圏内になりました。現地状況は参加者からの感想文が次号に掲載される予定ですので省略します。津波の被害の激しかった名取市閉上(ゆりあげ)の日和山にある犠牲者の慰霊塔に花束を捧げ、ご冥福を祈りました。翌日雨の中、同じ場所でウィーンフィルハーモニーの室内楽団員が慰霊演奏をしている模様がテレビで放映され、とても印象的でした。あの津波で荒廃した閉上地区の風景を再思い起こしました。(K生)